

全国学力学習状況調査は「測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面にすぎないこと等を踏まえて」実施されております。本調査は、国語・算数（数学）に特化して行われたものではありませんが、「知」の部分について説明責任を果たすという観点から今回20・21年度を総括いたしました。

平成22年度、全国学力学習状況調査は抽出方式になり、狭山市の平均正答率を求めることが出来ませんが、抽出校の結果を分析し徳育・体力の向上と共に改善策を立ててまいります。

全国学力学習状況調査の結果概要（20年度・21年度）

2 小学校算数 平均正答率（％）

（1）領域別の結果

A 主として知識（算数）

	平成20年度			平成21年度		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	77,3	77,5	76,8	81,1	81,0	82,8
量と測定	56,7	55,5	56,2	79,7	77,3	78,5
図形	73,2	72,1	72,7	82,0	80,3	81,3
数量関係	70,5	72,0	72,4	68,5	64,3	64,2

B 主として活用（算数）

	平成20年度			平成21年度		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	67,1	66,3	65,2	57,2	56,5	55,8
量と測定	51,8	53,9	53,3	62,2	60,6	59,9
図形	60,5	61,9	61,2	58,8	57,5	56,4
数量関係	45,2	45,7	44,9	57,3	57,4	56,8

（2）全体の結果

	平成20年度			平成21年度		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
A 主として知識（算数）	72,3	72,3	72,2	78,9	77,5	78,7
B 主として活用（算数）	51,7	52,5	51,6	56,5	55,5	54,8
算数の平均正答率	62,0	62,4	61,9	55,6	54,5	56,2

（3）結果の概要

- 「数と計算」は平成21年度のB以外は、県・全国を上回っている。
 - 「量と測定」は、平成20年度・平成21年度ともに、県・全国を上回っている。
 - 「図形」は、平成20年度・平成21年度ともに、県・全国を上回っている。
 - 「数量関係」は、平成20年度は県・全国を下回ったが、平成21年度は、県・全国を上回っている。
- *平成20年度は全国をA、Bのすべての領域で上回ったが、県はわずかではあるが下回った。
平成21年度は県・全国をA、Bのほとんどの領域で上回った。